

情報公開用文書（多機関共同研究用）

西暦 2022年 2月 18日 作成

研究課題名	閉塞性大腸癌に対する経肛門的イレウス管と大腸ステントの治療成績を検討する後ろ向き多施設共同観察研究
研究の対象	閉塞性大腸癌の診断で、2008年1月～2019年12月に根治切除が実施されている方で、術前に経肛門イレウス管または大腸ステントを留置されている方が対象
研究の目的・方法	閉塞性大腸癌に対する経肛門イレウス管と大腸ステント留置の治療成績を比較する
研究の期間	西暦 2022年 2月 18日 ～ 西暦 2024年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の種類	患者背景 年齢, 性別, ASA, 術前 CEA, 主占居部位, 減圧処置方法（経肛門イレウス管またはステント） 処置後の経過について（他の方法への移行が必要あったか）等 手術・病理関連情報 術式, 人工肛門の有無, 術後合併症, 術後入院期間（手術日, 退院日）, 腫瘍径, 主組織型, TNM(UICC 8 th), 遺残度等 術後の経過, 予後 術後補助化学療法の有無, 再発の有無・再発部位, 再発日, 最終生存確認日, 転帰（生存/死亡）, 死因等
外部への試料 ・情報の提供	対象症例の適格性を確認し、匿名化した後、調査シート（パスワードでロックされた Excel ファイル）にその対象症例に関する情報を入力する。 データは郵送またはメールで研究事務局に送付する。
外部からの試料・ 情報の取得と保管	外部から当院へ提供される資料・情報等はありません。
研究組織	研究代表者：神奈川県立がんセンター消化器外科 部長 塩澤学 研究事務局：神奈川県立がんセンター消化器外科 沼田幸司 共同研究機関 横浜市立大学附属病院 外科治療学 横浜市立大学市民総合医療センター 消化器病センター 神奈川県立足柄上病院 外科 国際医療福祉大学熱海病院 外科 済生会横浜市南部病院 外科 東京品川病院 外科 平塚共済病院 外科 秦野赤十字病院 外科 藤沢湘南台病院 外科 横浜南共済病院 外科・消化器外科 神奈川県立がんセンター 消化器外科

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、下記の連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

電話 045-782-2101 (代表) (平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで)

FAX 045-701-9159

連絡先対応者 (研究責任者)

消化器外科部長 樋口 晃生

* お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。
あらかじめご了承ください。

以上